

証券コード 6495
2021年6月8日

株 主 各 位

東京都中央区銀座西一丁目2番地
株式会社 宮入バルブ製作所
代表取締役社長 西 田 憲 司

第76回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社第76回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいますして、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2021年6月23日（水曜日）午後6時までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

- | | | |
|---------|---|---|
| 1. 日 | 時 | 2021年6月24日（木曜日）午前10時 |
| 2. 場 | 所 | 東京都千代田区有楽町二丁目10番1号
東京交通会館ビル 12階第一会議室A
（末尾の「株主総会会場案内図」をご参照ください。） |
| 3. 目的事項 | | |
| 報告事項 | | 第76期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）事業報告及び計算書類報告の件 |
| 決議事項 | | |
| 第1号議案 | | 取締役5名選任の件 |
| 第2号議案 | | 監査役3名選任の件 |

以 上

~~~~~  
◎本株主総会にご出席の際は、お手数ながら、同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎株主総会参考書類、事業報告、計算書類の内容について、株主総会の前日までに修正をすべき事情が生じた場合には、当社ホームページ（<http://www.miyairi-valve.co.jp/>）において掲載することにより、お知らせいたします。

(提供書面)

## 事業報告

(2020年4月1日から  
2021年3月31日まで)

### 1. 会社の現況

#### (1) 当事業年度の事業の状況

##### ① 事業の経過および成果

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、概ね厳しい状況で推移いたしました。本年3月の緊急事態宣言の解除後も、より感染力の強い変異株の影響もあり、感染者数が再び増加するなど、収束時期が見通せない不透明な状況が続いております。各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しの動きが一部で見られるものの、感染の動向が内外経済に与える影響や、金融資本市場の変動などに注視を要する状況にあります。

このような状況のなか、当事業年度の売上高は、黄銅弁関連製品が2,719百万円（前期比0.9%減）、鉄鋼弁関連製品が1,347百万円（前期比3.6%増）、その他120百万円（前期比18.7%増）、作業屑が464百万円（前期比19.0%減）となり、合計で4,652百万円（前期比1.5%減）となりました。

製品商品売上高のうち、LPガス容器用弁は、競争が激化したことにより、売上高は1,817百万円（前期比2.7%減）となりました。また、設備用はコロナ禍で工事案件が減少し、売上高は786百万円（前期比10.9%減）となりました。一方で、バルク付属機器は、予想どおりに交換需要が持続し、売上高は903百万円（前期比15.4%増）となりました。船舶用は前期より引き続き造船市場が堅調であり、売上高は350百万円（前期比25.2%増）となりましたが、車載用の売上高は微減の154百万円（前期比0.2%減）となりました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全社で可能な限りの休業を実施した結果、工場稼働が低下したために作業屑の売上高が大幅に減少し、総売上高も前期比で減少しました。

製品群・用途区分別の売上高、売上構成比、対前期比較増減は、以下の表のとおりです。

| 製品群     | 用途区分     | 第75期    |        | 第76期（当期） |        | 比較増減    |        |
|---------|----------|---------|--------|----------|--------|---------|--------|
|         |          | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円)  | 構成比(%) | 金額(百万円) | 増減率(%) |
| 黄銅弁     | ＬＰガス容器用弁 | 1,868   | 39.6   | 1,817    | 39.0   | △51     | △2.7   |
|         | 設 備 用    | 354     | 7.5    | 316      | 6.8    | △38     | △10.8  |
|         | バルク付属機器  | 521     | 11.0   | 585      | 12.6   | 63      | 12.2   |
|         | そ の 他    | 0       | 0.0    | 0        | 0.0    | △0      | △42.9  |
|         | 小 計      | 2,745   | 58.1   | 2,719    | 58.4   | △25     | △0.9   |
| 鉄鋼弁     | 設 備 用    | 528     | 11.2   | 470      | 10.1   | △58     | △11.0  |
|         | 車 載 用    | 154     | 3.3    | 154      | 3.3    | △0      | △0.2   |
|         | 船 舶 用    | 280     | 6.0    | 350      | 7.5    | 70      | 25.2   |
|         | バルク付属機器  | 261     | 5.5    | 317      | 6.8    | 56      | 21.8   |
|         | そ の 他    | 76      | 1.6    | 54       | 1.2    | △22     | △28.9  |
|         | 小 計      | 1,301   | 27.6   | 1,347    | 29.0   | 46      | 3.6    |
| その他     | そ の 他    | 101     | 2.1    | 120      | 2.6    | 18      | 18.7   |
| 屑 売 上 高 |          | 573     | 12.2   | 464      | 10.0   | △109    | △19.0  |
| 合 計     |          | 4,722   | 100.0  | 4,652    | 100.0  | △69     | △1.5   |

損益面につきましては、上記のように積極的に休業を実施し工場稼働を低下させたため、棚卸資産が大幅に減少（前期比610百万円の減少）し損益面にマイナスの影響を及ぼしましたが、雇用調整助成金の助けを借りながら全社的に大幅な経費削減に取り組んだことにより、営業利益は84百万円（前期比137.1％増）、経常利益は79百万円（前期比268.6％増）および当期純利益は45百万円（前期比748.2％増）となりました。









































































